

議会だより おかがき

No.98 3月定例会 平成26年4月25日発行

魅力ある元気なまちづくりへ ● 2～4

平成26年度一般会計予算 総額98億3600万円

町政を問う ● 8～11

一般質問



【一般会計予算の内訳】

定例会

3月

概要版

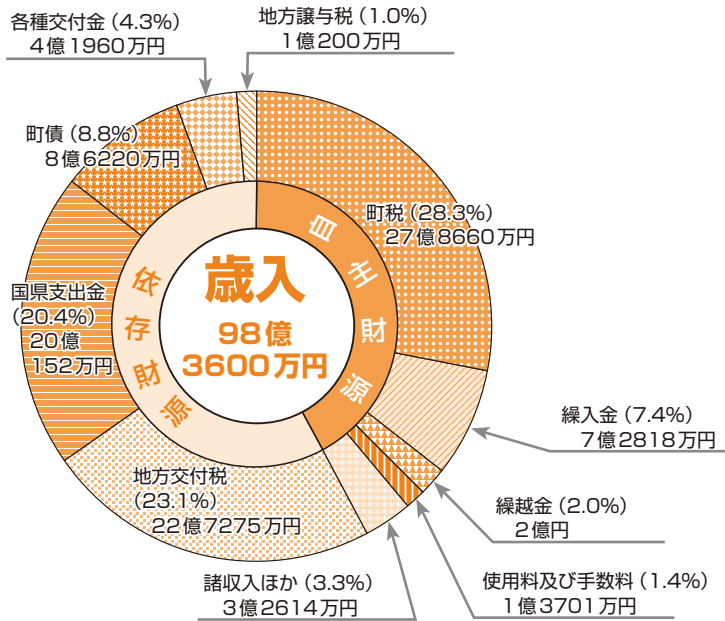
平成26年度一般会計・各特別会計予算可決

魅力ある元気なまちづくりへ

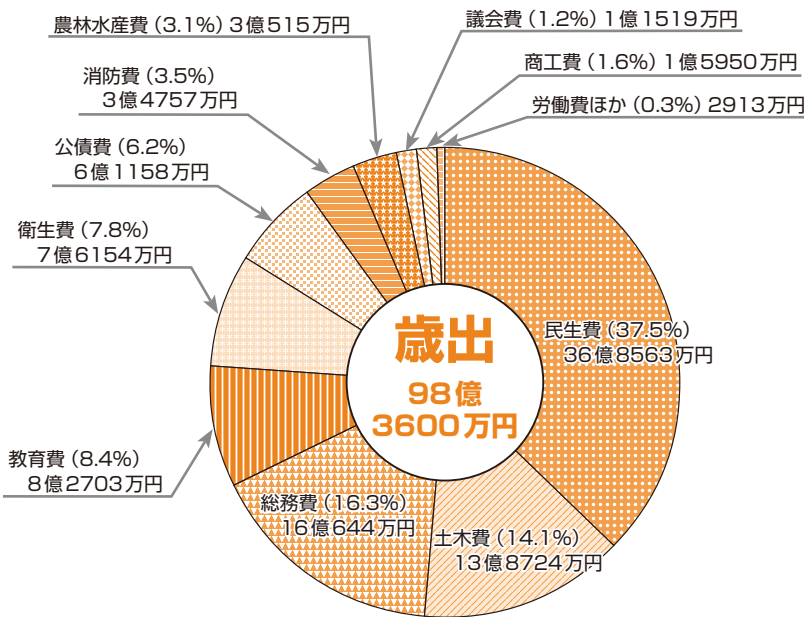
一般会計予算98億3600万円(前年度比9.4%増)

第1回定例会を3月3日から3月20日までの日程で開催し、平成26年度一般会計予算を含む議案27件、発議1件、諮問2件などについて慎重審議を行い議決しました。

歳入(財源)



歳出(使い道)



▼一般会計予算とは

町の基本的な行政運営を行うための経費を中心に計上した会計のこと。

▼特別会計予算とは

国民健康保険事業のように法律で義務づけられた会計のほか、水道事業などの地方公営企業の経理を明確にするための会計のこと。

▼地方交付税とは

市町村が一定の行政水準を確保できるように、国税の5税(酒税・消費税・たばこ税・所得税・法人税)の一定割合を一定基準により国が市町村に対して交付するお金のこと。使い道は制限されず、一般財源として使用。

▼町債とは

町が事業を行うために、国や金融機関などから借りるお金のこと。

▼公債費とは

町債などを返済するお金のこと。



【会計別予算額】

		平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	前年比
一	般 会 計	98億3600万円	89億9400万円	109.4%
特別 会計	国民健康保険	40億7366万円	39億9200万円	102.0%
	後期高齢者医療	5億1379万円	5億2000万円	98.8%
	住宅新築資金	80万円	78万円	102.6%
公 営	水道事業	5億8302万円	4億7900万円	121.7%
	下水道事業	9億8087万円	7億5500万円	129.9%
合 計		159億8814万円	147億4078万円	108.5%

* 公営企業会計は収益的支出の額

平成26年度歳出予算の特色

総務費

- ①庁舎施設等整備事業
(耐震化工事等) 5912万円
- ②電子計算機関連新規開発事業 1861万円
- ③サンリーアイ施設管理運営費
(施設大規模改修含む) 2億9670万円
- ④情報プラザ施設管理運営費
(用途変更経費含む) 1億523万円

民生費

- ①社会福祉協議会補助金 3579万円
- ②老人憩の家施設管理事業 2290万円
- ③介護予防サービス事業 4249万円
- ④自立支援サービス事業 2億2000万円
- ⑤いこいの里施設管理運営費
(入浴施設見直し経費含む) 2億2000万円
- ⑥臨時福祉給付金給付事業 1億6446万円
- ⑦児童手当支給事業 5億3621万円
- ⑧子ども医療事業 1億780万円

衛生費

- ①感染予防事業
(高齢者インフルエンザ予防接種) 1471万円
- ②乳幼児等感染予防事業 5659万円
- ③地球温暖化対策事業 968万円
- ④母子健康づくり支援事業 2840万円
- ⑤各種検診事業
(がん検診・特定健診・保健指導等) 2955万円

労働費

- ①緊急雇用創出事業
(農林水産物消費拡大事業委託料) 1412万円

農林水産費

- ①就農支援事業 1268万円
- ②地域ため池総合整備事業 2010万円

商工費

- ①中小企業対策事業 5250万円
- ②不況対策推進事業 500万円
- ③観光拠点施設整備・管理運営事業 1297万円

土木費

- ④観光協会補助金 2142万円
- ⑤消費生活対策事業 180万円
- ①町道改良事業 2290万円
- ②排水路整備事業 6063万円
- ③公共交通体系整備事業 5795万円
- ④社会資本整備総合計画作成業務委託 452万円
- ⑤JR海老津駅南側道路等整備事業 5億9770万円

消防費

- ①緊急防災無線事業 1129万円

教育費

- ①私立幼稚園就園奨励金 9361万円
- ②小学校施設整備事業 5763万円
- ③中学校施設整備事業 2587万円
- ④自治公民館活動支援事業 2557万円

■ 予算議会審議状況（連合審査会）

議員からの主な質疑内容

○ 施政方針について

- ・ 平成26年度のまちづくりの姿勢
- ・ 自主財源の確保
- ・ 観光開発とその発信
- ・ 環境保全（松枯れ対策・海岸侵食）
- ・ 健康づくりと食育
- ・ 臨時財政対策債

○ 総務費

- ・ 庁舎施設の整備事業（耐震化工事等）
- ・ 定住促進へ向けた事業
- ・ 交通安全施設と通学路安全施設工事
- ・ 法制支援システム

○ 民生費

- ・ 成年後見制度
- ・ 生活保護制度のあり方
- ・ 国民健康保険事業への繰出金
- ・ いこいの里入浴施設見直し
（バイオマスボイラー導入等）

○ 衛生費

- ・ 予防接種委託料の内容
- ・ 環境衛生とゴミ回収の現状
- ・ 海岸保全対策
- ・ 森林保全と樹木粉碎機
- ・ 住宅新エネルギー設備設置補助金

○ 労働費

- ・ 農林水産物消費拡大事業

○ 公債費

- ・ うみがめ債償還

○ 農林水産業費

- ・ 東黒山排水機場工事の進捗と今後の管理
- ・ 農地、水、環境保全向上対策
- ・ 新規就農者育成支援事業
- ・ ビワ栽培研修事業
- ・ 三里松原の松枯れ対策
- ・ 林業振興費

○ 商工費

- ・ 観光拠点施設運営
- ・ 金毘羅山千本桜の管理
- ・ 中心市街地活性化事業の進捗
- ・ 消費生活対策費

○ 土木費

- ・ J R海老津駅南側道路等整備事業
（自由通路、道路整備）
- ・ 公共交通体系整備事業
- ・ 社会資本整備総合計画
- ・ 委託料
（道路維持費、道路改良費、街路管理等）

○ 消防費

- ・ 無線従事者養成講習
- ・ 自主防災組織補助金
- ・ 防災士の現状

○ 教育費

- ・ 郡教育委員協議会
- ・ 小・中学校就学援助費
- ・ 学校給食センター運営委員の役割
- ・ スポーツ安全保険

■ 全員協議会の議題

- ① 第2次健康増進計画の策定について
- ② 橋梁長寿命化修繕計画の策定について
- ③ コミュニティバスのダイヤ改正について
- ④ 岡垣記念病院の保険医療機関の指定の取り消しについて



平成26年度 岡垣町一般会計予算

反対

平山 弘 議員

国の大増税で、国民の暮らしと経済は深刻な事態になる。年金、医療など社会保障の給付削減を初め、暮らしの予算も削減になる。

そのもとの町の予算である。妊婦検診、ワクチンの無料接種継続や小学校6年生までの入院、通院負担軽減の拡充、学童保育の拡充、政策空き家清掃等委託料（障害者就労支援）などは評価するが、「岡垣町行財政構造改革プログラム」を引き継ぎ、「選択と集中」による「町政経営」の実施を図る予算で、社会的弱者の負担が増えていくことになる予算と考え賛成できない。

下川路 勲 議員

JR海老津駅南側に向けての自由通路には多額の予算を使い、本来にこの自由通路が必要とは思えない。

46メートル先には階段もあり、高齢者の多いこの町に必要なのか。その危険性についても危惧するところだ。交番を設置するとも聞いているが、勤務中の警察官が監視できるのだろうか。安全面でも防犯面でも、また費用対効果においても疑問があり反対する。

西 美千代 議員

太陽光発電とエネファーム設置にかかる補助制度の新設、消費生活相談窓口の開設、海老津第二学童保育所の開設、地域コミュニティ無線導入に向けて基本方針作成などの予算に期待する。

しかし、JR海老津駅南側道路等整備事業の自由通路に本年度予算でJRへの委託料4億1千9百万円が計上されており、これまでも自由通路関連予算に反対し、意見を述べてきた。町民からは、防犯面での不安の声は依然としてあり、つくべきでないとの考えから反対する。

広渡 輝男 議員

平成26年度一般会計予算の財源を確保するため、臨時財政対策債や建設町債などの地方債は8億6千2百万円の借り入れ、また基金を7億2千8百万円取り崩して繰り入れ、繰越金は2億円とし、対前年度比8億4千2百万円増の予算編成である。厳しい財政状況の中で社会保障関係予算の確保などには大いに評価するが、自由通路工事のJR委託料4億1千9百万円が計上されている。JR海老津駅ホームへの乗降はできないばかりか駅南開発が不透明な中で、自由通路の費用対効果は大いに疑問である。自由通路計画の大幅な見直しを求める立場から反対する。

賛成

小野 元次 議員

「第5次総合計画」の実現に向けて、魅力ある元気なまちの将来の姿が見えてくる予算として、98億3千6百万円が組まれている。

この使途は、校区コミュニティの推進、教育の充実と子育て世代への対応、地場産業の育成と企業誘致、農水産業者の育成や観光、定住政策の促進などである。また、安全安心な防災・防犯や自然環境への対策、高齢者や障害者に対して官民一体となった福祉ネットワーク形成など実践的な事業の取り組みが伺える。きめ細やかな配慮がされた予算で、実効性ある行財政経営を期待し賛成する。

太田 強 議員

町の今年度予算は、前年比94%、額にして8億4千2百万円の増であるが、その要因は、国の「好循環実現のための経済対策」や「臨時福祉給付金給付事業」などによるものと考ええる。

特徴として、定住促進・流入人口増加策、外部評価などを踏まえた検証の結果存続とし、バイオマスボイラーを導入する。いこいの里の入浴施設改修、災害時における住民の安全を図るための電話回線を利用した、多重音声応答装置の導入等、いずれも町が抱えている課題に敢然と取り組まれたものと判断し賛成する。

神崎 宣昭 議員

「第5次総合計画」や「事務事業見直し・行政組織改編実行計画」に掲げた事業のJR海老津駅南側道路等整備事業、情報プラザ人の駅の運営見直し、いこいの里入浴施設へのバイオマスボイラーの導入等が予算化されている。

少子化対策、定住・交流人口の増加対策として、子育て世代に対し、住宅取得時の支援や転入者への特産物のプレゼント、内浦・戸切両小学校区内の民間賃貸住宅への家賃補助、中古住宅購入時の補助、家庭用燃料電池（エネファーム）設置に係る補助制度等を評価して賛成する。

横山 貴子 議員

本予算には定住人口の増加を目指した、子育て世代・新婚世帯を主体とした定住促進支援事業が盛り込まれており、自主財源確保の環境づくりにつながるものと期待する。

中心市街地活性化に向けた事業、三里松原海岸の侵食対策、三里松原の保全活動、貴重な地下水源の保守、子どもたちが安心して学べる学校施設の整備事業、子ども医療費事業、高齢者福祉・障害者福祉向上のための事業等も予算化されている。

町の重点事業の駅南側道路等整備事業も、着実に事業の推進が図られている。

以上評価し、賛成する。

安部 弘彦 議員

町長は、「本年は魅力ある元気なまちの姿が形として見えてくる1年になる」と言われた。

その内容が各所にちりばめられている予算で、第5次総合計画での平成32年までの人口フレームを35,000人とした将来像を踏まえた予算でもあり、とりわけ、平成26年度の施政方針の中でも言及された「JR海老津駅南側道路等整備事業」は、東部地域の宝・小局・上海老津・戸切白谷・戸切・戸切百合野などの住民の皆さんの悲願である。遅滞なく粛々と工事が進むことを祈念して、賛成する。

神崎 三里松原の再生を

町長 国・県・町が一体となって保全



神崎 宣昭 議員

神崎 三里松原の松枯れ被害は、沈静するどころかとどまることを知らず、昨年は汐入川から西側の松が全滅しました。命をかけて守ってきた先人に申し訳ない気持ちでいっぱいです。三里松原の再生は、待ったなしの状態です。町として、三里松原の再生はどのような対策を立てていますか。

町長 本年1月に林野庁などへ要望を行いました。その結果、九州森林管理局の担当部長が来町し、協議を行いました。その中で、国における松枯れ関連予算の大半を福岡県に投入していくことや徹底した予防・駆除を実施してい

くことを確認しました。さらに松枯れ対策の要望を強く訴えるため、糸島市から遠賀郡4町までの5市5町の自治体で、松枯れ対策協議会の設立を目指し協議を始めました。

○再生可能エネルギーの有効活用について

神崎 最近、自治体施設や遊休地を利用して、太陽光発電設備を設置し、賃料や固定資産税、法人税などで収入を得ている自治体がありますが町も試みて自主財源アップに努めてはどうですか。



山積みされた松枯れ木

町長 公共施設屋上を活用した太陽光発電については、現在検証をしています。遊休地を有効活用したものについても、適地条件や景観上の問題もあることから慎重に対応し

ていきます。なお、住宅用の太陽光発電設備については、本年4月から新たに補助制度をスタートさせ、再生可能エネルギーの普及に加え、定住促進にもつなげていきます。

曾宮 町民の健康づくりは

町長 一定の効果があつた



曾宮 良壽 議員

町長 健康増進法に基づいて、都道府県、市町村は健康増進計画を策定し、様々な取り組みを行っています。

岡垣町では、平成26年度からスタートする第2次健康増進計画を策定するための住民アンケートからは、健康づくりの取り組みに一定の効果があつたと評価できます。多くの住民が健康づくりに関心を持ち、取り組まれた成果であると思います。

国民健康保険財政の健全化には、健康づくりのみならず、医療費適正化もあわせて実施していく必要があります。

○食育について



健康体操

曾宮 健康づくりをさらに前進させ、町民が元気で健康という目標達成に向けての手立ての一つとして、町をあげての食育の推進があると考えますが、その現状はどうなのか。町民にどれほど周知されているか疑問です。

町長 第2次健康増進計画において、望ましい食生活の啓発活動推進や正しい基礎知識の普及、地産地消を広げることとで安全安心な食への理解促進などを掲げ、町民と行政それぞれが実行する具体的な取り組みを定めています。

策定後は、計画に沿って各課連携しながら各種事業を実施し、町民や各種団体と一体となって健康づくりを推進していきます。

安部

地産地消と特産品開発の考え方は

町長

町内産を積極的に活用



安部 弘彦 議員

安部 農水産品の地産地消は、どのような方針で進められていますか。また、学校給食における地産地消の考え方（食育）について伺います。

町長 イオン・インショップ、やっぱあゝ岡垣、波津の海産市、内浦や糠塚での直売や学校給食や保育所における町内産農林水産物の活用などがありません。生産者にとっては所得向上、消費者にとっては生産者の顔が見えることで感謝の気持ちで安心して農林水産物を消費できるという効果があります。今後直売などの地産地消を推進し、学校給食などに町内産の農林水

産物を積極的に活用していきます。

教育長 食育基本法に沿って、文部科学省の「学校を中心とした食育」にいち早く取り組みました。学校給食の充実と安全衛生、学校現場における食育を推進するため学校給食連絡協議会を設置し、岡垣産の野菜や米など、給食として子どもたちに年間を通して提供できています。今後協議会委員の方々と協議しな



高倉びわ

がら、岡垣産の農産物や海産物が給食の食材として活用できるよう取り組んでいきます。

安部 特産品・名産品開発は、どのような方針で進めていますか。ビジネスになっていない焼酎岡垣に対する考え方を具体的に伺います。

横山

学校教育施設の暑さ対策を早急に

町長

扇風機の設置など検討



横山 貴子 議員

横山 昨年の夏は記録的な猛暑日が続きました。今年も猛暑は続くと思われます。教育環境の整備として、暑さ対策は急務です。対策の進捗状況と今後について伺います。

町長 教育委員会に対して、学校と十分協議をし、扇風機の設置など教室の暑さ対策を

町長 焼酎岡垣は、協働のまちづくりのシンボルとして商品化したものです。今後は、まちづくりPR商品とするため、町内にとどまらず町外へも積極的に販路を拡大し、生産とその活用に取り組みしていきたいと考えています。

検討するよう指示を出しました。その結果、教室での扇風機の設置検証をすることとし、今回の補正予算に経費の計上をしています。

横山 子どもの衛生環境を整えるために待ったなしの事業であり、町の諸々の事業と合わせて進めるべき事業とします。最も暑さの影響を受けやすい3階部分だけでも先に設置すべきと思いますが。

町長 教育現場のなかで十分論議していただきたい。まずは効果を見て、効果があると



なれば進めていきます。

横山 子どもの健康を守るためにも、できる限り前倒しで整備は行っていただきたい。

横山 胃がん検診とピロリ菌検査を組み合わせることで、胃がん予防が大きく前進すると期待できます。市民の方々の健康を守る観点から、胃がん検診にピロリ菌検査の導入ができないか伺います。

町長 胃がん検診は、健康増進法に基づく事業と位置付けられており、国が定めた指針に沿って実施しています。現時点では、がん検診の方法としてピロリ菌抗体検査導入の国の動きはありません。今後も国の動向を見ながら検討していく課題と考えます。

平山

消費税増税で町民の暮らしは

町長 負担増加はさげられない



平山 弘 議員

年金受給者や低所得者は大きな負担となります。負担の増加は事業者にとっても同様と考えます。

平山 国は国保の運営責任を県に移管しようとしています。が、なぜですか。

町長 国保の加入者は被用者保険と比べて、所得水準が低く、高齢者が多いと言われています。それを国、県、町の支援と、被保険者の保険料で運営しているのです。財政的課題も大きいので、将来も持続可能な制度にするためです。

平山 消費税率引き上げを見越した需要がありました。個人消費は低い伸びで、昨年末期の経済成長率は大きく鈍化しました。景気の先行きについてどのように思われますか。

町長 アベノミクスの効果は今春闘の結果や今後のGDP成長率などで判断されます。今後の国の経済財政運営を注視していきたいと考えます。

平山 消費税が8%へ増税されると、町民の家計や中小零細業者の経営にどのような影響が出てくると思われますか。

町長 町民の負担が増加することは避けられません。特に



平山 国保の財政運営の厳しさは、そういう構造的な課題に起因しています。運営を県に変えただけでは解決しないのではないですか。

町長 国、県、市町村が財政支援を含め国保制度を持続的に維持していくための協議を

太田

観光客誘致策を

町長

観光商品開発に取り組む



太田 強 議員

行っているのです。状況を注視し対応します。

平山 子ども医療の助成を病院の時でも中学校3年生まで拡充する考えはありませんか。

町長 今後も現行の内容で継続していく考えです。

交流人口の増加と地域の活性化が期待できます。

太田 観光協会も法人化されて新しい組織としてできました。今後は、具体的に観光コースなどをつくって町内外の観光客誘致策を検討してはどうですか。

町長 観光協会の法人化により、観光案内業務にとどまらず、協会職員の豊富な経験を生かし、観光振興の実働部隊として観光客の誘致活動やホームページを立ち上げて情報発信の幅を広げています。今後は観光協会が地域限定旅



成田山からの眺望

行業の免許を取得してツアープランのほか、健康づくりや自然環境などを付加したパック商品開発に取り組む計画です。この取り組みに当たっては、教育委員会や歴史文化研究会などと連携することで効果的、効率的な展開が可能になります。

行政ではできないことを法人化された観光協会に担っていただき、お互いの連携を図りながら観光振興に取り組んでいきたいと考えています。

広渡

交通弱者の移動手段の拡充を

町長

改善や効率的な運行形態を目指す



広渡 輝男 議員

広渡 少子高齢化社会を迎え、高齢者や障害者などの交通弱者の社会参加や生涯学習などの外出を支援する公共交通機関の充実が重要です。平成26年度に取り組まれる高齢者福祉計画や障害者福祉計画にどのように反映されるのかお尋ねします。

町長 地域公共交通総合連携計画に基づき、西部地域の公共交通サービスとの格差是正、車両のバリアフリー対策を講じ、路線を3路線から4路線化し、住民生活に必要な移動手段の確保に努めています。
広渡 地域公共交通総合連携計画は、平成25年度に終期を迎えますので、本計画の見直

し方針と見直し年度をお尋ねします。

町長 本年度中に次期計画を策定すべきでしたが、海老津駅南側の道路、駅前広場が平成28年3月に完了する計画であることから、それを踏まえて次期計画を策定することが望ましいと考えています。

広渡 コミュニティバスの需要は確実に増大していると考えます。平成25年度末を迎え、この事業をどう検証され今後の拡充を図ろうとされて



コミュニティバス

いるのか、お尋ねします。

町長 コミュニティバスの充実については、次期計画策定の中で、利用状況の改善や効率的な運行形態の検討を行い、より一層充実させなければならぬと考えています。

広渡 利用者の要求に応じ

西

男女共同参画社会の推進に向けて

町長

後期実行計画に基づき進める



西 美千代 議員

て、玄関から目的地まで送迎する乗合輸送システム、デマンド交通システムの導入についてお尋ねします。

町長 デマンド交通の事例の収集や分析を行い、次期計画に織り込むかどうかの検討を進めたいと考えます。

啓発活動や講演会の実施、DV被害者等からの相談体制の充実、各種研修への参加者に対する助成などを行っています。

西 女性が町の政策や方針決定の場に参画し、責任を持って役割を担っていくために個人の努力に加え、町としても学ぶ機会を提供する必要があると考えますが。

町長 男女共同参画リーダー養成講座を開催しています。現在では、卒業生が自ら団体を立ち上げ、男女共同参画に関する啓発活動や自主研修な

どの活動が行われています。

西 岡垣町は審議会等への女性登用状況は、福岡県の中でも上位にありますが、35%の目標達成のために今後も努力して欲しい。また、女性職員の内課長職登用をぜひ進めるべきではありませんか。

町長 平成26年度から5年間の計画期間とした後期実行計画の策定作業を進めています。各団体への働きかけや女性の人材情報の把握などにより目標達成に向けて取り組んでいきます。加えて平成30年度時点の女性課長の登用数についても目標設定する方向で検討を進めています。

※他に介護保険における制度改革について質問しました。



委員会活動レポート

総務産業常任委員会

日時
平成26年1月15日～17日

視察先
千葉県柏市、南房総市、館山市

視察の目的

- ・ スマートシティについて
- ・ 農業振興活性化策について
- ・ 第1次産業の6次産業化について

1月15日～17日まで閉会中の調査で、千葉県柏市（スマートシティ）、南房総市、館山市で視察研修を行いました。

柏市では民間主導の先進的な駅周辺開発を、南房総市では特産品（ピワ）による町おこしの状況を、館山市では食によるまちづくりの取り組みを現地で直接研修を行いました。参考になるたくさんの方の指示を持ち帰って、3月定例会での審議に生かされたと考えています。



柏市

文教厚生常任委員会

遠賀・中間リレーセンターと
中間・遠賀リサイクルセンターを視察見学

岡垣町議会は「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制（リデュース）と再利用（リユース）を促進するための法律の制定を求める意見書」を、昨年12月に議決し、国の関係機関へ提出しました。

家庭ゴミの分類や容器包装の現状について、容器包装等を含めた可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ等が扱われる循環型ごみ処理施設「遠賀・中間リレーセンター」と、再利用（リユース）、再利用（リサイクル）化を行う施設「中間・遠賀リサイクルプラザ」を1月22日に視察し学習をしました。



リサイクルセンター



大木町

議会の動き

12月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
1月 7日	文教厚生(協)	閉会中の継続調査の視察先及び日程の協議
1月 9日	議 会 広 報	議会だより編集
1月 9日	議 会 運 営	議長からの諮問
1月15日 ~17日	総 務 産 業	行政視察研修 (千葉県柏市・南房総市・館山市)
1月20日	研 修 会	町村議会議員研修会
1月22日	文 教 厚 生	リサイクル施設・町内学童保育所視察
1月24日	研 修 会	議員研修会 (道州制の動向について)
2月 3日	文 教 厚 生	行政視察研修(大木町)
2月 3日	議 会 運 営	第1回臨時会
2月 7日	総務産業(協)	認定・志向農業者との意見交換会
2月10日	本 会 議	上程・議決
2月19日	議 会 運 営	第1回定例会
3月 3日	本 会 議	上程・委員会付託
3月 3日	議 会 広 報	議会だより編集
3月 5日	連合審査会	付託案件審査
3月 5日	本 会 議	議決
3月 5日	議 会 運 営	追加議案
3月 6日	本 会 議	一般質問4人、上程、議決
3月 7日	本 会 議	一般質問4人
3月10日	総 務 産 業	付託案件審査
3月11日	文 教 厚 生	付託案件審査
3月12日	全員協議会	第2次健康増進計画の策定他
3月13日	連合審査会	付託案件審査
3月14日	連合審査会	付託案件審査
3月17日	連合審査会	付託案件審査
3月18日	連合審査会	付託案件審査
3月20日	本 会 議	議決・発議
3月20日	議 会 運 営	委員会条例の一部改正
3月20日	議 会 広 報	議会だより編集



南房総市

また、2月7日には、認定・志向農業者連絡協議会の皆さんと意見交換会を持ちました。この中で岡垣町の農業の現状とこれからについて、有意義な話し合いができたと思います。
同時に課題をいただき、今後の委員会活動に生かしながら、提言できるところまで方向づけを行いたいと思います。



館山市

2月3日、持続可能な循環のまちづくりを目指して平成20年に「もったいない宣言」を行った、大木町の「おおき循環センターくるるん」を訪ねました。
この施設は、家庭からの生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をバイオマス資源化する施設です。

施設を運営する機能は、地域ぐるみの循環型社会づくりを生み、有機液肥での農業の振興を図り、地産地消での食の提供へとつなぐシステムです。地域の協働と活性化による自然環境への配慮があり、参考になりました。

おおき循環センターくるるん(三瀨郡大木町)

岡垣町の

ここはどこ？

岡垣町の玄関口JR海老津駅の南側にあり、標高140メートルの小高い山は「福岡県快適な環境スポット30選」にも選ばれています。住民の輪が広がって開かれた山は、心がふれあう憩いの公園として親しまれています。ここにある「見晴らしの丘」からは、岡垣町全体及び遠賀町や遠く北九州・宗像方面を望むことができます。一帯が公園化されており、湧き水などがあって、春は桜の名所となります。



97号の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、高倉にある龍昌寺でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

岡垣町の

1・2・3月の主な出来事



町立東部保育所閉所式



ボランティアによる三里松原植樹

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

6月4日(水)
開会の予定

議会議務局職員が 替わりました



水上書記 本田局長 廣渡係長

・事務局長 本田 典生
・係長 廣渡 要介
・書記 水上 明美
平成26年4月1日の人事異動に伴い、高山昌文事務局長が教育総務課へ異動し、新たに本田典生事務局長を迎えることになりました。

編集後記

曾宮 良壽

月曜朝の交通立ち番を始めて一年弱になる。昨年亡くなったS氏の思いを継いだつもりで、立ち番グッズ一式を形見にいただいた。

辻ごとと同じ装いで立つ同志の名前は知らないが「おはよう」「あついですねー」「さむいですねー」と声をかけたくなるが、届く距離ではない。

たまに、青バトに乗る役場職員とも手で挨拶を交わす。季節の変わりを太陽の高さで実感する30分。多分最後尾であろう子どもと歩いて一緒に歩く。

小学生には「おはよう」中学生には「GOOD MORNING」反応が様々で面白い。月曜朝、これを怠ると一日気色が悪い。

S氏もそうだったのかと思うことがある。

発行責任者

議会広報特別委員会

委員長	安部 弘彦
副委員長	神崎 宣昭
委員	横山 貴子
委員	小野 元次
委員	曾宮 良壽
委員	西宮 美千代